

## 巻 頭 言

この研究誌は、広島大学大学院国際協力研究科アジア文化講座と大学院社会科学研究所アジア社会文化研究に所属する、アジア地域を研究対象とする教官と院生による論文集である。

大学院国際協力研究科設立以前から、大学院社会科学研究所においてアジア地域を研究対象としている教官と院生との間では、自分たちの論文発表の場を作りたいという意見があった。1995年度の国際協力研究科教育文化専攻文化コース新設に伴い、社会科学研究所からアジア地域研究担当の教官の大半が国際協力研究科アジア文化講座に移行して後は、社会科学研究所と国際協力研究科においてアジア地域を研究対象としている有志による「アジア社会研究会」が開催されるようになった。研究誌『アジア社会文化研究』は、そこでの発表を通して議論を重ねてきた各人の研究をまとめたものである。

本創刊号ははまだ不十分のそしりを免れないが、これを期に『アジア社会文化研究』が、広島大学でアジア研究にかかわるものが研究科の枠をこえて学際的に研究成果を発表できる場としていきたい。同時に、その内容やレベルにおいて高度な水準を追求するものでありたいと願い、そのためにレフェリー制度を導入し質の高い研究誌に育てていきたいと考えている。ご指導とご叱正を賜れば幸いである。

広島大学大学院国際協力研究科アジア文化講座

主任 崔吉城